

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最大 6 細胞/mL、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大80細胞/mL確認されました。

アレキサンドリウム属は、主に二枚貝（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

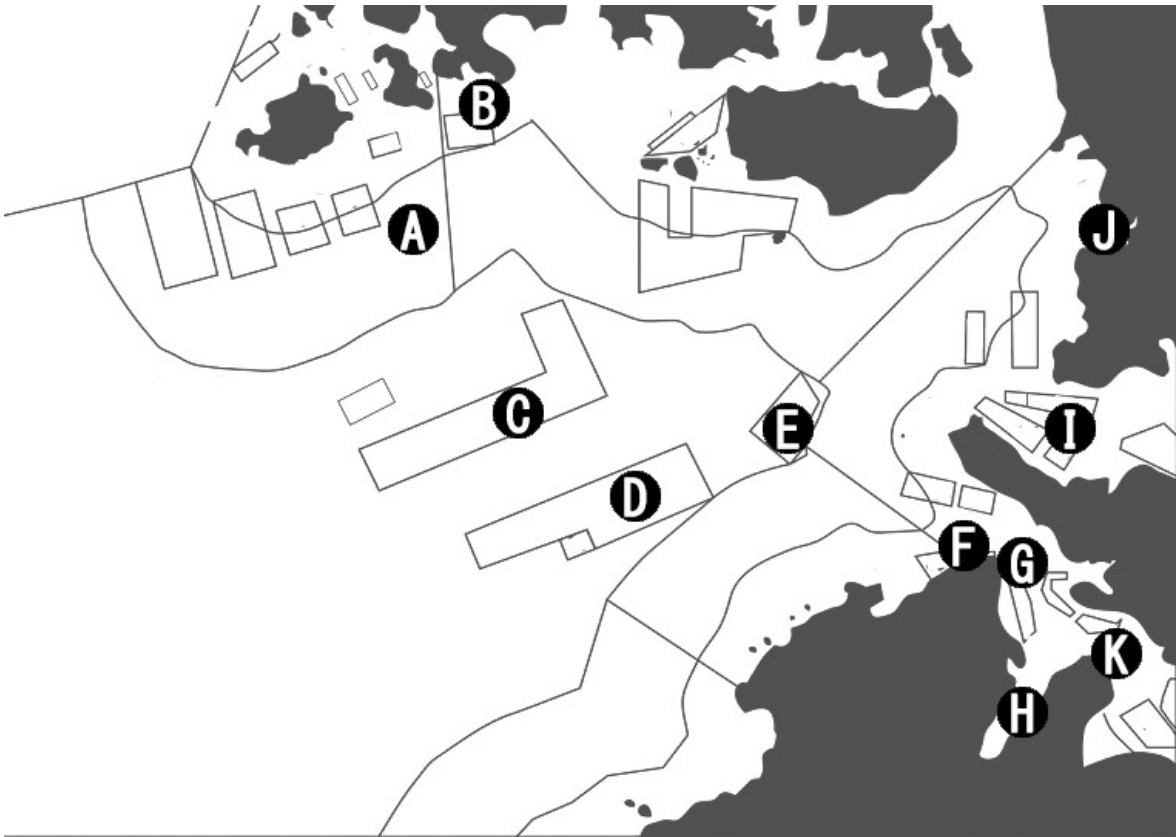
調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属
	(m)	(℃)		(mg/L)		
A 藻津 (-/35.8m) 【09:26】	0	22.3	26.4	7.6	0	4
	5	21.7	34.0	7.3	0	0
	★ 10	21.5	34.3	7.1	0	0
	15	21.3	34.4	7.1	-	-
	20	20.8	34.4	6.9	-	-
B 宇須々木 (-/25.8m) 【09:19】	0	22.5	23.4	7.6	0	2
	★ 5	21.8	33.9	7.1	2	0
	10	21.5	34.2	7.0	0	0
	15	21.4	34.3	7.0	-	-
	20	21.1	34.4	6.9	-	-
C 大島中央 (-/32m) 【09:34】	0	21.9	22.9	7.4	0	0
	5	21.7	34.0	7.1	6	0
	10	21.4	34.3	7.1	0	0
	15	21.3	34.4	7.2	-	-
	★ 17	21.0	34.4	7.3	0	0
	20	20.6	34.5	6.7	-	-
D 小筑紫中央 (-/48.6m) 【09:44】	0	21.8	22.1	7.8	0	1
	5	21.8	34.0	7.0	0	0
	★ 10	21.4	34.4	7.2	0	0
	15	20.9	34.4	7.1	-	-
	20	20.4	34.5	6.6	-	-
E シラハエ (-/36.6m) 【09:58】	0	21.5	7.6	8.4	0	11
	5	21.8	33.9	7.2	0	0
	★ 10	21.5	34.3	7.1	0	0
	15	20.9	34.4	6.9	-	-
	20	20.5	34.5	6.8	-	-
F 立石 (-/23.1m) 【10:06】	0	22.3	24.8	7.5	0	20
	5	21.6	34.3	7.2	0	1
	★ 10	21.4	34.4	7.1	0	0
	15	21.2	34.4	6.9	-	-
	20	20.6	34.5	6.6	-	-

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	クロロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属
G 一切田 (-/21.6m) 【10:32】	0	22.2	19.5	7.9	2	1
	★ 5	21.8	33.9	7.3	0	0
	10	21.4	34.3	7.0	0	0
	15	21.2	34.4	6.7	-	-
	20	20.3	34.5	6.4	-	-
H 栄喜奥 (-/13.1m) 【10:16】	0	22.4	16.4	8.4	0	80
	★ 2	22.1	33.3	7.4	0	7
	5	21.7	33.9	7.1	0	3
	10	21.4	34.3	6.9	0	0
I ヒロウラ (-/24.9m) 【10:42】	0	21.5	13.8	8.1	0	0
	5	21.7	34.1	7.3	2	0
	★ 10	21.3	34.4	6.8	0	0
	15	20.9	34.4	6.7	-	-
	20	20.3	34.4	6.1	-	-
J 田ノ浦 (-/6.1m) 【09:04】	0	21.4	21.5	7.3	2	2
	★ 5	21.8	33.6	6.8	0	2
K 青瀬山 (-/15.1m) 【10:24】	0	21.9	13.8	7.9	0	17
	3	21.9	33.5	7.5	0	1
	★ 5	21.8	33.8	7.3	4	4
	10	21.4	34.3	6.9	0	0
	15	21.3	28.4	6.5	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL : <https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。



- A: 藻津 E: シラハエ I: ヒロウラ
B: 宇須々木 F: 立石 J: 田ノ浦
C: 大島中央 G: 一切田 K: 青瀬山
D: 小筑紫中央 H: 栄喜奥

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrioides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオチカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。